

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 4 区分
【発行日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【公表番号】特表2003-526733(P2003-526733A)
【公表日】平成15年9月9日 (2003.9.9)
【出願番号】特願2000-566479(P2000-566479)
【国際特許分類】
C 2 2 C 21/06 (2006.01)
【F I】
C 2 2 C 21/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マグネシウム (M g) 3 ~ 5 重量 %、
ジルコニウム (Z r) 0.05 ~ 0.15 重量 %、
マンガン (M n) 0.05 ~ 0.12 重量 %、
チタン (T i) 0.01 ~ 0.2 重量 %、
スカンジウム、イットリウム及びランタニド元素からなるグループより選択される少なく
とも 1 種の元素であって、少なくともスカンジウムを含む合計 0.05 ~ 0.5 重量 %、
残余であるアルミニウム (A l)、および
最高 0.2 重量 % の珪素 (S i) を含む不可避免的な不純物を含むことを特徴とする、アル
ミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 2】 スカンジウム含有量に対するマンガン含有量の比が、2 より小さいことを特徴とする、請求項 1 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 3】 少なくとも 0.15 重量 % のスカンジウム (S c) を含んでいることを特徴とする、請求項 1 または 2 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 4】 1 種またはそれ以上のランタニド元素を 0.05 ~ 0.35 重量 % 含有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 5】 前記 1 種またはそれ以上のランタニド元素が、セリウム (C e)、ネオジウム (N d)、ユーロピウム (E u)、ガドリニウム (G d)、ジスプロシウム (D y)、ホルミウム (H o)、またはエルビウム (E r) であることを特徴とする、請求項 4 記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 6】 スカンジウム族元素より選択される少なくとも 1 種の元素としてテルビウム (T b) を含んでいることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のアルミニウム - マグネシウム合金。

【請求項 7】 請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載のアルミニウム - マグネシウム合金から成ることを特徴とする、航空機用、船舶用または陸上車両用の溶接された、圧延された、押出し成形されたまたは鍛錬された構造部材。